

令和元年度第1回美祢警察署協議会会議録

開催日時	令和元年6月25日（火）午後3時17分～午後5時05分	
開催場所	美祢市大嶺町東分312番地 美祢警察署 講堂（3階）	
出席者	委員	安藤浩太郎、多田杏子、山田悦子、高山正樹 計4人
	警察署	署長、次長、刑事生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、警務係長 計7人
議題	1 所管業務説明 2 諮問事項 「G20大阪サミット等の開催に向けた警備諸対策の推進」	
<p>1 会長挨拶 協議会委員の皆様には、お忙しい中御出席いただき感謝申し上げます。 また、日程がなかなか決まらない中、事務局の方には御尽力いただいた。 さらに、前回から会場のレイアウトを変えていただき、配慮してもらった。 第1回目ということであるが、私と副会長が2期目、他の委員は1年目で、半分以上が新しいメンバーとなり、このメンバーで頑張っていく。 私は2期目で会長という立場になった。頑張っていくのでよろしく願います。</p> <p>2 署長挨拶 （省略）</p> <p>3 出席者自己紹介 （省略）</p> <p>4 所管業務説明 (1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進状況 (2) 地域に密着した地域安全活動の推進等 (3) 美祢市内の交通情勢</p> <p>所管業務説明に対する質疑等 （委員）</p>		

巡回連絡実施状況は、実施数の割に面接率が低い。

(地域課長)

巡回連絡は、一般の家庭を訪問するもので、重点を置いているのが、人の出入りが多いアパートである。管内のアパートには外国人労働者が多く入居しており、重点的に実施しているが、一方で面接ができていないので、それが数字に表れている。現実には、実態把握が難しい状況にある。外国人が多く入ってくるからといってすぐに犯罪に結びつくわけではないが、昔から地域に住んでいる方からすれば、不安要素になっている。警察としては、地域住民の不安を解消するためにも巡回連絡を実施している。

(委員)

企業が外国人を雇い入れる話をよく聞くが、問題になっていることはないのか。

(地域課長)

技能実習制度があり、そういった制度を活用している大手企業が雇用している外国人については、しっかりとした実態把握ができています。半面、ソーラーパネル工事等の下請会社がアパートを借り上げて、そこに外国人が入居している場合などは実態把握が困難となっている。そのことが治安の不安要素となっている面もあり、今後も巡回連絡により実態把握に努めていく。

(委員)

言葉の問題があるのではないかと。

(地域課長)

配偶者が日本人や二世などの場合も多く、日本語はおおむね問題ないと認識している。日本語がわからない人には、コミュニケーションボードを活用するなどして対応している。

(委員)

外国人労働者について、地域の人たちの不安を解消するために何かしているのか。

(地域課長)

地域の見守り、見せる活動をしている。スーパー等に外国人が集まって酒を飲んでいるといった通報があれば、パトカーで制服警察官を向かわせ、指導、警告を実施するなどしている。一方、犯罪に対しては躊躇なく検挙することとしており、指導と検挙の2本立てで地域の安全を確保している。

(委員)

一軒家に住んでいる外国人に対して、定期的に訪問しているのか。

(地域課長)

巡回連絡を実施している。

(警備課長)

雇用企業を通じて指導をしている。企業は厳しく指導していると聞いている。何かあれば帰国させられるという危機感がある。

(次長)

そもそも文化が違うのでなかなか難しいところがある。コミュニティを作ったりもするので、企業を通じて交通マナーや遵法精神等の指導を行っている。今後も外国人の増加が予想されるので、いろいろな方法で対策を講じていくこととしている。

(委員)

子供への声かけ事案について、悪質なものがあるのか。市のメールでは、被害の程度がよくわからないので、これを知ることはできないのか。

(刑事生活安全課長)

美祢駅周辺については、声かけ事案はあるものの、手を引っ張ったり、車に乗せられそうになるといったものはなく、写真を撮られたり、スマートフォンを向けられたという通報が多い。スマートフォンを向けられたからといって、一概に写真を撮っているとは考えにくいですが、こういった通報が増えるのは危機意識が高まっているということでもあり、良いことだと思っている。現在のところ、当署をはじめ、大嶺小校区のボランティアや見守り隊による活動の強化等を行っているが、今後、防犯カメラの設置も検討していく。

また、メルマガの内容については、分かりにくい点もあると思うが、被害者がいることなので、直接的な表現はできないことを御理解いただきたい。

(署長)

発生後すぐにメルマガを配信するようにしているが、実際のところ、発生翌日の通報が多いことから、その時に110番通報してほしい。すぐにパトカーを行かせて対応させる。時間が経つと捕まえられない。

(委員)

うそ電話詐欺は、美祢市では発生はなく、県内や全国では減少している。実行犯が減っているのか、または被害に遭わないようにしているから減っているのか。手口は巧妙になっているのに、なぜかと思う。

また、高齢者が多い美祢市では、高齢者に配慮した活動や対策をしているのか。

(刑事生活安全課長)

犯行グループが減っているかどうかは定かではないが、海外拠点を摘発した事例等もあり、それが数字に反映されているものと考えられる。被害は減少しているが、県内では、先月、6千万円の被害にあった事案も発生しており、安心できるかといえばそうではない。手口はますます巧妙になっており、気が付けば被害者の1人になっているということもある。被害を防ぐために、地域の特性や手口に応じた広報をしっかりとやっていく。

当署管内の手口で多いのは、はがき、メール、電話で、地理的に現金を取りに来る手口は少ないと認識している。

(署長)

電話は、固定電話にかかってくるので、どうしても高齢者が標的になる。留守

番機能の活用などは効果的である。

(委員)

そもそも若い人は、固定電話を持たない。

5 諮問事項説明

諮問事項である「G20大阪サミット等の開催に向けた警備諸対策の推進」について説明した。

協議（意見・要望）

(委員)

山口県からも部隊を派遣しているのか。

(警備課長)

派遣している。

(委員)

美祿署からも派遣しているのか。

(警備課長)

そのとおりである。

(委員)

プーチン大統領が来日した時に、会社の敷地を貸したことがある。その時不思議に思ったのは、警察官が山を向いて立っていたことで、何をしているのか尋ねたところ、ドローン対策をしていると言っていた。

(警備課長)

ドローンは無人でも操作できるので、警察としては非常に警戒している。

(委員)

警備課の仕事がよくわからない。日頃どのような業務をしているのか。災害発生時にはどのような対応をするのか。他の課に比べて仕事が見えにくいと感じる。

(警備課長)

日頃は、災害等への備えを始め、様々な事案への対策を実施している。先ほど、G20や国テロについて説明したが、そのほかにもサイバーテロ対策や右翼対策もあり、いろいろな対策を実施している。

(署長)

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックに向けて、様々な対策を実施している。ソフトターゲット対策も行っており、テロは、どこでも起きる可能性があることを認識していただきたい。

(委員)

災害時の救出や救助で、自衛隊の派遣はどのようになっているのか。

(警備課長)

被災地の自治体が県に要請し、県から自衛隊に派遣を要請する。現場では、警

察、消防、自衛隊等が連携して活動する。

(次長)

警察では、広域緊急援助隊という部隊が編成されている。この部隊は、県を超えて活動する部隊で、全国から集まり連携して活動できる体制を構築している。

【全般協議】

(委員)

最近、速度取締りが少ないと感じている。

(委員)

大嶺小学校周辺における30キロ規制の交通取締りは、効果的だと思う。

(次長)

ゾーン30とって、概要は「平成30年の警察活動」に説明があるが、小学校の周辺など、区域を決めての規制である。

6 次回開催予定

次回（令和元年度第2回）協議会は9月開催を予定している。8月中に会長と協議し、開催日を案内する。

7 配付資料

- (1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進状況
- (2) 地域に密着した地域安全活動の推進等
- (3) 美祢市内の交通情勢
- (4) G20大阪サミット等の開催に向けた警備諸対策の推進（諮問）